

○ 全国と比較して、5.0ポイントより上回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(6)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	66.7	60.9	5.8
(10)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	38.4	33.4	5.0
(12)	学校に行くのは楽しいと思いますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	56.0	49.8	6.2
(28)	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	54.5	45.7	8.8

○ 全国と比較して、3.0ポイントより上回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(7)	将来の夢や目標を持っていますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	64.7	60.8	3.9
(9)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	86.1	82.6	3.5
(11)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	79.5	75.3	4.2
(13)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	36.6	32.0	4.6
(14)	友達関係に満足していますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	66.8	63.2	3.6
(26)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	36.3	33.2	3.1
(35)	5年生までを受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	「当てはまる」と回答した児童の割合	42.0	37.3	4.7
(39)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	35.8	31.8	4.0
(43)	国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	44.5	40.9	3.6
(55)	英語の勉強は好きですか	「当てはまる」と回答した児童の割合	42.1	38.6	3.5
(57)	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	32.1	28.9	3.2

○ 全国と比較して、3.0ポイントより下回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(23)	新聞を読んでいますか	「ほぼ毎日読んでいる」「週に1~3回程度読んでいる」と回答した児童の割合	8.1	12.6	-4.5

○ 全国と比較して、5.0ポイントより下回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(16)	家で自分で計画を立てて勉強していますか	「よくしている」と回答した児童の割合	22.9	28.7	-5.8
(20)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間勉強していますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	「30分以上」と回答した児童の割合	31.0	37.3	-6.3

○ 考察と今後の方向性について

設問番号	考察と今後の方向性
(13)	「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」の問いに、「当てはまる」と答えた児童は、本市36.6% (全国32.0%、愛媛県30.5%) となっており、やや高い数値を示しています。今後、話し合い活動を積極的に取り入れ、児童同士が認め合う集団づくりを目指していききたいと考えています。また、相手の意見を尊重しながら自分の意見も述べていく指導を継続して行っていききたいと考えています。
(28)	「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか」の問いに、「当てはまる」と答えた小学校児童は、本市54.5% (全国45.7%、愛媛県49.7%) と高い数値を示しています。小学校高学年で、外国語科となり、英語に慣れ親しむ機会が増えつつあります。また、昨年度から小学校5年生で先行実施されている本市独自の「今治モデル『ふるさとキャリア教育』」により、今治の良さを認識し郷土愛が育まれていると考えられます。今後は、日本や今治市の良さを発信できる表現力の育成を図っていききたいと考えています。
(39)	「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の問いに、「当てはまる」と答えた児童は、本市35.8% (全国31.8%、愛媛県31.2%) と高い数値を示しています。これまでの総合的な学習の時間での課題探求型学習の積み重ねの成果が現れていると考えます。今後は、今年度より全面実施となる今治市独自の事業「今治モデル『ふるさとキャリア教育』」を通して、児童が自ら学ぶ力を更に育成していききたいと考えています。
(16)	「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)」の問いに、「よくしている」と答えた児童は、本市22.9% (全国28.7%、愛媛県28.7%) と低い数値を示しています。家庭学習の定着については、本市の課題の一つであり、小学校において「よくしている」と答えた児童の割合は、平成28年(21.5%)→平成29年(27.0%)→平成30年(27.7%)→令和元年(27.7%)→令和3年(27.8%)→令和4年(21.9%)と、ほぼ横ばい状態にあります。各学校でも、「家庭学習の手引き」を作成して児童、保護者に周知したり、「家庭学習チャレンジウィーク」や家庭学習予定表の記入などの試みを工夫したりしていますが、十分な定着には至っていません。今後は、家庭の理解と協力を得ながら、家庭学習の定着を目指していく必要があると考えています。
(23)	「新聞を読んでいますか」の問いに、「ほぼ毎日読んでいる」「週に1~3回程度読んでいる」と答えた児童は、本市8.1% (全国12.6%、愛媛県10.1%) となっており、低い数値を示しています。今後は、新聞を読んで自分の考えをまとめる活動を授業や朝の活動の時間に取り入れるなど、新聞に触れる機会を意図的に設ける必要があると考えます。